

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 卵巣上皮性腫瘍の各組織型における細胞学的検討

研究の目的

卵巣上皮性腫瘍（卵巣癌）はそれぞれの組織型によって治療法が全く異なるため、鑑別が重要となります。各組織型はそれぞれ特徴的な細胞所見を有していますが、診断者によって評価が様々である項目も多いです。そのため細胞診での鑑別は容易ではなく、特に低分化（分化の低い）腫瘍の場合は困難です。そこで客観的な項目（診断者によって評価のばらつきが小さい項目）を用いて、卵巣上皮性腫瘍の各組織型の細胞像について後ろ向きに比較検討を行います。

研究実施期間： 実施許可日～ 2029 年 3 月 31 日

対象となる方： 2018 年 1 月 1 日～2028 年 12 月 31 日までの間、当院で手術を行い、病理組織診断で卵巣・卵管が原発の上皮性腫瘍であると診断された方  
対象症例数は年間約 10 例です

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

術中迅速組織診断時（手術時）に当院病理部で作製する術中捺印細胞診標本、患者さんの腹水を用いて作成する腹水細胞診標本、病理組織標本を使用します。具体的には、プレパートをを用いて各組織型における細胞像の特徴を比較検討し、鑑別の補助となるような所見を明らかにしたいと思います。個別のデータは当院の電子カルテ、病理診断報告書から収集します。電子カルテからは主に患者年齢、性別、手術内容、術後治療を収集します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院 医療技術部検査部門 丸山 裕也 (まるやま ゆうや) 電話 : 0172-33-5111 (内線 7191) メール : maru10yu12@hirosaki-u.ac.jp
-------	---